

版番号 1.13 作成改訂日: 2016/10/27 整理番号: 100000010878 前回作成改訂日: 2016/08/30
初回作成日: 2015/09/22

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Capture enhancement reagent

化学名又は一般名 : Capture enhancement reagent
7037

供給者情報

供給者の会社名称 : Janssen Diagnostics, LLC

住所 : 700 US Highway Route 202
South Raritan, NJ 08869
US

電話番号 : (877) 837-4339

電子メールアドレス
責任者/発行人 : SDSJanssen@its.jnj.com

緊急連絡電話番号 : **CHEMTREC JP: +(81)-345209637**
CHEMTREC International: +1 703-527-3887

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 検定用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 液体

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

SODIUM-AZIDE	26628-22-8	>= 0.1 - < 1	1-482
--------------	------------	--------------	-------

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。
医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
多量の水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも 5 分間洗う。
コンタクトレンズをはずす。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合には、水で口をゆすぐ（意識がある場合のみ）。
直ちに医師を呼ぶ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 特有の消火方法 : 情報無し。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 不意に放出された場合には、緊急対応チームが、リスクアセスメントに基づき、適宜個人保護具を着用して対処することが必要です。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に排出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 多量の流出 : 塞ぎ止めます。不活性の吸収材に浸み込ませます。ラベルが正しく貼付されている容器に保管します。
少量の流出 : 吸収性のタオルまたはパッドを徐々に被せま

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

す。
 多量の流出+少量の流出：適切な密封できる廃棄用容器に保管します。回収した物質は、「廃棄上の考慮点」のセクションに説明された通り取り扱います。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 熱分解を避けるため、過熱しない。
 吸入、摂取および皮膚と目への接触を避ける。
 指定された個人用保護具を使用すること。
- 接触回避 : 酸化剤
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

保管

- 安全な保管条件 : 製品の品質を維持するため、高熱、直射日光を避けて保管する。
 納品時の容器でのみ保管する。
 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
 熱や発火源から遠ざける。
 カギを閉めておきます。
 冷蔵保管。
- 推奨された保管温度 : 2 - 8 °C

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
SODIUM-AZIDE	26628-22-8	C (蒸気)	0.11 ppm (アジ化水素酸)	ACGIH
		C	0.29 mg/m ³ (アジ化ナトリ)	ACGIH

- 設備対策 : 個人保護具はリスクアセスメントに従ったものとし、必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

保護具

- 呼吸用保護具 : 必ず技術的管理を曝露管理の第一手法としてください。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

特定の活動のために呼吸用保護具が必要な場合、そのタイプおよび対応する保護要因は、リスクアセスメント、および、空気密度、ハザード、身体、および、存在する物体の警告特性によります。
通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護具

備考 : 使い捨て手袋

目の保護具 : 特別な予防措置は必要としない。

皮膚及び身体の保護具 : 特別な予防措置は必要としない。

保護対策 : 保護具は、環境安全衛生リスクアセスメントに従って選択する必要があります。必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液体
色 : 透明
臭い : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性 : 推奨保管条件下では安定。
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件 : 熱分解を避けるため、過熱しない。
混触危険物質 : 酸化剤
危険有害な分解生成物 : 知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

成分:**SODIUM-AZIDE:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 27 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****成分:****SODIUM-AZIDE:**

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)):
0.7 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia pulex (ミジンコ)): 4.2 mg/l

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

に対する毒性	曝露時間: 96 h
藻類に対する毒性	: IC50: 272 mg/l
細菌に対する毒性	: EC50 (Photobacterium phosphoreum (フォトバクテリウム - ホスホレウム)): 38.5 mg/l

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 国、連邦、州および地域の規制に従う。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意**国際規定****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積み輸送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECS - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

日付フォーマット : 年/月/日

Numbers 123, 456. 78

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータ



版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010878	初回作成日: 2015/09/22

はここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA

版番号 1.13 作成改訂日: 2016/10/27 整理番号: 100000010966 前回作成改訂日: 2016/08/30
初回作成日: 2015/09/22

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : PBS/Biotin

化学名又は一般名 : PBS/Biotin
7044

供給者情報

供給者の会社名称 : Janssen Diagnostics, LLC

住所 : 700 US Highway Route 202
South Raritan, NJ 08869
US

電話番号 : (877) 837-4339

電子メールアドレス
責任者/発行人 : SDSJanssen@its.jnj.com

緊急連絡電話番号 : **CHEMTREC JP: +(81)-345209637**
CHEMTREC International: +1 703-527-3887

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 検定用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 液体

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010966	初回作成日: 2015/09/22

SODIUM-AZIDE	26628-22-8	>= 0.1 - < 1	1-482
--------------	------------	--------------	-------

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。
医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
多量の水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも 5 分間洗う。
コンタクトレンズをはずす。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合には、水で口をゆすぐ（意識がある場合のみ）。
直ちに医師を呼ぶ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 特有の消火方法 : 情報無し。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 不意に放出された場合には、緊急対応チームが、リスクアセスメントに基づき、適宜個人保護具を着用して対処することが必要です。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に排出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 多量の流出 : 塞ぎ止めます。不活性の吸収材に浸み込ませません。ラベルが正しく貼付されている容器に保管します。
少量の流出 : 吸収性のタオルまたはパッドを徐々に被せま

版番号 1.13 作成改訂日: 2016/10/27 整理番号: 100000010966 前回作成改訂日: 2016/08/30
初回作成日: 2015/09/22

す。
多量の流出+少量の流出：適切な密封できる廃棄用容器に保管します。回収した物質は、「廃棄上の考慮点」のセクションに説明された通り取り扱います。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 熱分解を避けるため、過熱しない。
吸入、摂取および皮膚と目への接触を避ける。
指定された個人用保護具を使用すること。
- 接触回避 : 知見なし。
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

保管

- 安全な保管条件 : 製品の品質を維持するため、高熱、直射日光を避けて保管する。
納品時の容器でのみ保管する。
乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
熱や発火源から遠ざける。
カギを閉めておきます。
冷蔵保管。
- 推奨された保管温度 : 2 - 8 °C

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
SODIUM-AZIDE	26628-22-8	C (蒸気)	0.11 ppm (アジ化水素酸)	ACGIH
		C	0.29 mg/m ³ (アジ化ナトリ)	ACGIH

- 設備対策 : 個人保護具はリスクアセスメントに従ったものとし、必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

保護具

- 呼吸用保護具 : 必ず技術的管理を曝露管理の第一手法としてください。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010966	初回作成日: 2015/09/22

特定の活動のために呼吸用保護具が必要な場合、そのタイプおよび対応する保護要因は、リスクアセスメント、および、空気密度、ハザード、身体、および、存在する物体の警告特性によります。
通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護具

備考 : 使い捨て手袋

目の保護具 : 特別な予防措置は必要としない。

皮膚及び身体の保護具 : 特別な予防措置は必要としない。

保護対策 : 保護具は、環境安全衛生リスクアセスメントに従って選択する必要があります。必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液体

色 : 透明

臭い : 無臭

10. 安定性及び反応性

反応性 : 合理的に予想できるものは、なにもない。

化学的安定性 : 推奨保管条件下では安定。

危険有害反応可能性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。

避けるべき条件 : 熱分解を避けるため、過熱しない。

混触危険物質 : 知見なし。

危険有害な分解生成物 : 知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

版番号 1.13 作成改訂日: 2016/10/27 整理番号: 100000010966 前回作成改訂日: 2016/08/30
初回作成日: 2015/09/22

急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

成分:**SODIUM-AZIDE:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 27 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****成分:****SODIUM-AZIDE:**

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)):
0.7 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia pulex (ミジンコ)): 4.2 mg/l

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010966	初回作成日: 2015/09/22

に対する毒性	曝露時間: 96 h
藻類に対する毒性	: IC50: 272 mg/l
細菌に対する毒性	: EC50 (Photobacterium phosphoreum (フォトバクテリウム - ホスホレウム)): 38.5 mg/l

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 国、連邦、州および地域の規制に従う。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意**国際規定****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010966	初回作成日: 2015/09/22

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010966	初回作成日: 2015/09/22

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報**その他の略語の全文**

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積み輸送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECS - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

日付フォーマット : 年/月/日

Numbers 123, 456. 78

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータ

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.13	2016/10/27	100000010966	初回作成日: 2015/09/22

はここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA

版番号 1.9 作成改訂日: 2016/11/15 整理番号: 100000010880 前回作成改訂日: 2016/10/27
初回作成日: 2015/09/21

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Anti-EpCAM ferrofluid

化学名又は一般名 : Anti-EpCAM ferrofluid
7036

供給者情報

供給者の会社名称 : Janssen Diagnostics, LLC

住所 : 700 US Highway Route 202
South Raritan, NJ 08869
US

電話番号 : (877) 837-4339

電子メールアドレス
責任者/発行人 : SDSJanssen@its.jnj.com

緊急連絡電話番号 : **CHEMTREC JP: +(81)-345209637**
CHEMTREC International: +1 703-527-3887

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 検定用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 液体

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

Anti-EpCAM mouse mAb conjugated to Ferrofluid	未特定	< 0.1	
---	-----	-------	--

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。
医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
直ちに多量の水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも 5 分間洗う。
コンタクトレンズをはずす。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合には、水で口をゆすぐ（意識がある場合のみ）。
直ちに医師を呼ぶ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 特有の消火方法 : 情報無し。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 不意に放出された場合には、緊急対応チームが、リスクアセスメントに基づき、適宜個人保護具を着用して対処することが必要です。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に排出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び : 多量の流出 : 塞ぎ止めます。不活性の吸収材に浸み込ませま

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

機材	<p>す。ラベルが正しく貼付されている容器に保管します。</p> <p>少量の流出：吸収性のタオルまたはパッドを徐々に被せま す。</p> <p>多量の流出＋少量の流出：適切な密封できる廃棄用容器に保 管します。回収した物質は、「廃棄上の考慮点」のセクショ ンに説明された通り取り扱います。</p>
----	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項	: データなし
安全取扱注意事項	: 熱分解を避けるため、過熱しない。 吸入、摂取および皮膚と目への接触を避ける。 指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避	: 知見なし。
衛生対策	: 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

保管

安全な保管条件	: 製品の品質を維持するため、高熱、直射日光を避けて保管す る。 納品時の容器でのみ保管する。 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり 閉めて保管する。 熱や発火源から遠ざける。 カギを閉めておきます。 冷蔵保管。
推奨された保管温度	: 2 - 8 ° C

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 許容濃 度	出典
Anti-EpCAM mouse mAb conjugated to Ferrofluid	未特定	PBOEL-HHC	2	J&J OEL/PBOEL HHC
<p>詳細情報: J&Jには次の有害危険物質群表記があります: PBOEL HHC。この物質はJ&Jにより PBOEL HHC 2と分類されています。 すなわち、OEL (許容暴露管理量)は20~100 µg/m3と推定され ます。</p>				

設備対策	: 個人保護具はリスクアセスメントに従ったものとします。必
------	-------------------------------

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

保護具

呼吸用保護具	: 必ず技術的管理を曝露管理の第一手法としてください。 特定の活動のために呼吸用保護具が必要な場合、そのタイプおよび対応する保護要因は、リスクアセスメント、および、空気密度、ハザード、身体、および、存在する物体の警告特性によります。 通常、呼吸用保護具は必要ない。
手の保護具	
備考	: 使い捨て手袋
眼の保護具	: 特別な予防措置は必要としない。
皮膚及び身体の保護具	: 特別な予防措置は必要としない。
保護対策	: 保護具は、環境安全衛生リスクアセスメントに従って選択する必要があります。必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 液体
色	: 褐色
pH	: 7.5
溶解度 水溶性	: 可溶性

10. 安定性及び反応性

反応性	: 合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	: 推奨保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	: 熱分解を避けるため、過熱しない。
混触危険物質	: 知見なし。
危険有害な分解生成物	: 知見なし。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

11. 有害性情報

急性毒性

データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 国、連邦、州および地域の規制に従う。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規定

陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

関連法規

消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/10/27
1.9	2016/11/15	100000010880	初回作成日: 2015/09/21

16. その他の情報

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECS - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

日付フォーマット : 年/月/日
Numbers 123,456.78

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA

版番号 1.12 作成改訂日: 2016/10/27 整理番号: 100000010879 前回作成改訂日: 2016/08/30
初回作成日: 2015/09/22

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Dilution buffer

化学名又は一般名 : Dilution buffer
7039

供給者情報

供給者の会社名称 : Janssen Diagnostics, LLC

住所 : 700 US Highway Route 202
South Raritan, NJ 08869
US

電話番号 : (877) 837-4339

電子メールアドレス
責任者/発行人 : SDSJanssen@its.jnj.com

緊急連絡電話番号 : **CHEMTREC JP: +(81)-345209637**
CHEMTREC International: +1 703-527-3887

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 検定用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 液体

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

SODIUM-AZIDE	26628-22-8	>= 0.1 - < 1	1-482
--------------	------------	--------------	-------

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。
医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
多量の水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも 5 分間洗う。
コンタクトレンズをはずす。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合には、水で口をゆすぐ（意識がある場合のみ）。
直ちに医師を呼ぶ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 特有の消火方法 : 情報無し。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 不意に放出された場合には、緊急対応チームが、リスクアセスメントに基づき、適宜個人保護具を着用して対処することが必要です。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に排出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 多量の流出 : 塞ぎ止めます。不活性の吸収材に浸み込ませます。ラベルが正しく貼付されている容器に保管します。
少量の流出 : 吸収性のタオルまたはパッドを徐々に被せま

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

す。
 多量の流出+少量の流出：適切な密封できる廃棄用容器に保管します。回収した物質は、「廃棄上の考慮点」のセクションに説明された通り取り扱います。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 熱分解を避けるため、過熱しない。
 吸入、摂取および皮膚と目への接触を避ける。
 指定された個人用保護具を使用すること。
- 接触回避 : 酸化剤
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

保管

- 安全な保管条件 : 製品の品質を維持するため、高熱、直射日光を避けて保管する。
 納品時の容器でのみ保管する。
 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
 熱や発火源から遠ざける。
 カギを閉めておきます。
 冷蔵保管。
- 推奨された保管温度 : 2 - 8 °C

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
SODIUM-AZIDE	26628-22-8	C (蒸気)	0.11 ppm (アジ化水素酸)	ACGIH
		C	0.29 mg/m ³ (アジ化ナトリ)	ACGIH

- 設備対策 : 個人保護具はリスクアセスメントに従ったものとし、必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

保護具

- 呼吸用保護具 : 必ず技術的管理を曝露管理の第一手法としてください。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

特定の活動のために呼吸用保護具が必要な場合、そのタイプおよび対応する保護要因は、リスクアセスメント、および、空気密度、ハザード、身体、および、存在する物体の警告特性によります。
通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護具

備考 : 使い捨て手袋

目の保護具 : 特別な予防措置は必要としない。

皮膚及び身体の保護具 : 特別な予防措置は必要としない。

保護対策 : 保護具は、環境安全衛生リスクアセスメントに従って選択する必要があります。必要に応じて、環境安全衛生専門家と相談してください。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液体

色 : 透明

臭い : 無臭

pH : 7.5

溶解度
水溶性 : 可溶性

10. 安定性及び反応性

反応性 : 合理的に予想できるものは、なにもない。

化学的安定性 : 推奨保管条件下では安定。

危険有害反応可能性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。

避けるべき条件 : 熱分解を避けるため、過熱しない。

混触危険物質 : 酸化剤

危険有害な分解生成物 : 知見なし。

版番号 1.12 作成改訂日: 2016/10/27 整理番号: 100000010879 前回作成改訂日: 2016/08/30
初回作成日: 2015/09/22

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

成分:

SODIUM-AZIDE:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 27 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

SODIUM-AZIDE:

- | | |
|-------------------------|---|
| 魚毒性 | : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)):
0.7 mg/l
曝露時間: 96 h |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 | : EC50 (Daphnia pulex (ミジンコ)): 4.2 mg/l
曝露時間: 96 h |
| 藻類に対する毒性 | : IC50: 272 mg/l |
| 細菌に対する毒性 | : EC50 (Photobacterium phosphoreum (フォトバクテリウム - ホ
スホレウム)): 38.5 mg/l |

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

- | | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | : 国、連邦、州および地域の規制に従う。 |
| 汚染容器及び包装 | : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。 |

14. 輸送上の注意

国際規定

陸上輸送 (UNRTDG)

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報**その他の略語の全文**

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); EC_x - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる濃度; EL_x - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErC_x - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積み輸送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECS - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニューージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2016/08/30
1.12	2016/10/27	100000010879	初回作成日: 2015/09/22

- 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

日付フォーマット : 年/月/日
Numbers 123, 456. 78

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA